

「ドアのお手入れ」について

塩害による「さび」の発生を遅らせる!

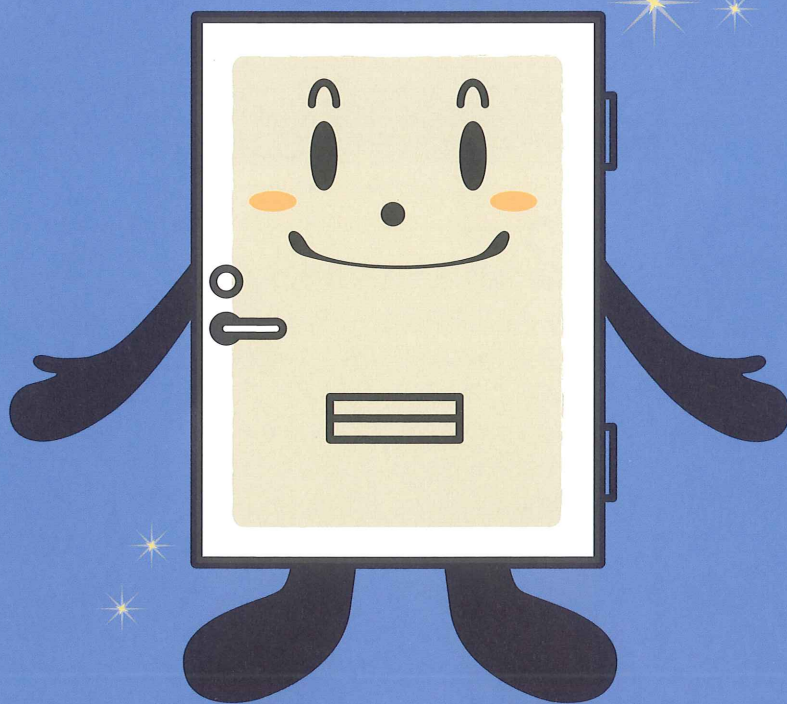
お手入れをして
きれいに長く
使しましょう

ドアも
お手入れ必要?

どうして
さびるの?

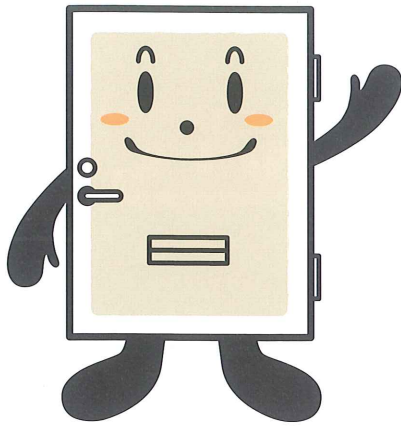
塩害って何?

お手入れの
方法が
分からない...



社団法人 日本シャッター・ドア協会

日本鋼製軽量ドア協議会



ドアは建物または住戸の顔として、いつまでもきれいに使いたいものです。しかし、時間が経過すると様々な条件で、汚れが目立ってきたり「さび」が発生したりして、美観を損なってしまいます。

そこで本書では、ドアをきれいに長く使って頂くために、塩害による「さび」の発生原因とお手入れのポイントについて、ご紹介致します。

塩害とは

海からの塩分を含む風などによって、ドア本体や枠・部品などに腐食・「さび」が発生することを言います。

※塩害の場合、ドア製品以外の場所にも腐食・「さび」が見られる傾向があります。

さび発生の原因

海風には塩分が含まれています。この風を受けることで、ドアに塩分が付着しそのまま放置すると「さび」の発生原因となってしまう。また空気中には微量の「さび」や鉄粉が含まれていることがあります。

この「さび」や鉄粉がドアに付着すると、「もらいさび」となって「さび」が発生することがあります。

ステンレス製の部品・部材でも、同じ現象がおこることがあります。

※それ以外にも、給湯器からの排ガスや化学物質（亜硫酸ガス等）によりドアに腐食が発生することがあります。

「さび」の発生しやすい条件

●設置場所による条件

1 沿岸部に近いところ

一般的に海からの塩分の飛来は、海岸線からの距離に大きく関係し、^{※1} 海岸線より2km以内は、海風による塩分の飛来が多い地域に区分されています。

(※1 JIS Z 2381「大気暴露試験方法通則」による)。

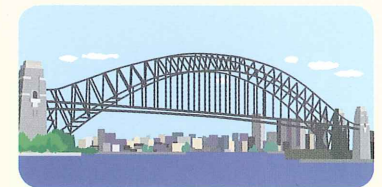
2 海岸線が見通せるところ

台風などの風の強い日には、塩分を含んだ風は数十キロ先まで、届くこともあります。

また海岸線が見通せる（海岸まで風を遮るものがない）建物などは、海岸線から離れていても塩分は飛来します。また、海風をさえぎる障害物の有無などによっても影響を受けます。

3 大きな河川沿い

大きな河川では、海水の逆流があるために、河川からの風による塩分の飛来があります。



4 日本海側

日本海側は冬期の雪・季節風に起因する塩分のために、「さび」が発生しやすい地域となります。

5 海風などが直接当たる向き

ドアが設置されている向きによっても、「さび」の発生しやすいさは異なります。

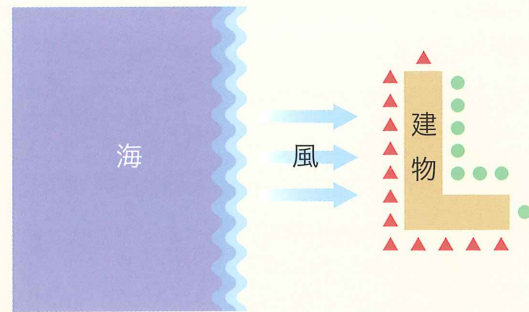
また、海風をさえぎる障害物の有無などによっても影響を受けます。

6 その他

廊下の入り込んだ部分に設置されている場合など、ドアに付着した塩分が雨によって流されることがないので常に塩分が付着した状態で、「さび」が発生・進行しやすくなる場合があります。



「さび」の発生しやすい 建物条件の目安



記号▲部……海風が直接当り、さびが発生しやすい場所
記号●部……▲部より、さびの発生は少ない場所

●部位による条件

塩分・水分がたまりやすいまたは流されにくい部分、汚れや空気中に含まれる「さび」や鉄粉が付着しやすい部分、傷がつきやすい部分など、ドアの部位により「さび」が発生しやすい部分があります。

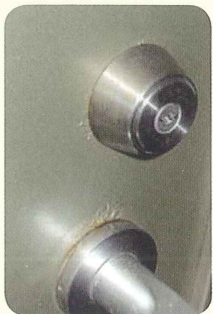
- ・たて枠とくつずりのコーナー部 ・たて枠と上枠のコーナー部 ・錠前 ・ポスト ・ドアアイ ・吊金物（丁番など）
- ・錠 ・ハンドルなどと、その周辺部 ・ドアコーナー部（小口）



「さび」発生状況



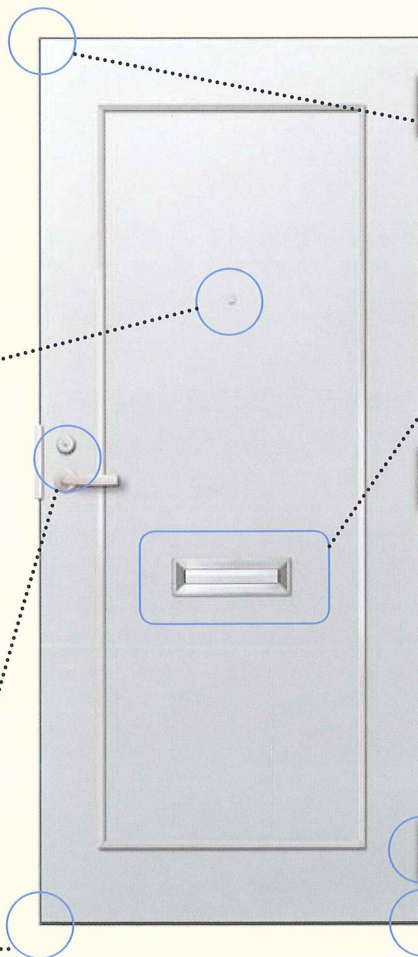
■ドアアイ部



■錠前部



■ドアコーナー部



■たて枠と上枠のコーナー部



■ポスト部



■丁番部



■たて枠とくつずりのコーナー部

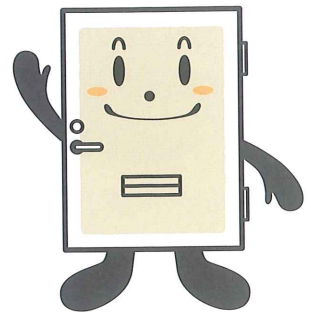
お手入れのポイント（「さび」の発生を遅らせるために）

「さび」の発生を遅らせるには、定期的にお手入れして頂くことが重要となります。ここでは、お手入れのポイントや頻度（時期）について、ご紹介します。

●お手入れのポイント

ドア及び枠の表面だけではなく、上記に示しました「さび」の発生部位について定期的に清掃を行ってください。清掃の目安は少なくとも年1～2回程度、「さび」の発生しやすい条件の地域ではこまめに清掃を行ってください。

また、台風などの後は特に塩分が付着するおそれがありますので清掃をおこなってください。



お手入れ方法・注意事項

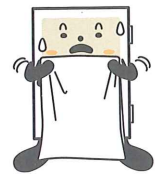
1 水または中性洗剤を薄めた液を含ませた、柔らかい布またはスポンジを使って拭き取ってください。

中性洗剤を使用した場合は、その後洗剤の成分が残らないように十分水拭きしてください。
※酸性やアルカリ性の洗剤は使用しないでください。「さび」や変色などの原因になります。
※磨き粉などの研磨剤が混入している洗剤は使用しないでください。製品に傷が付ぎ「さび」や変色などの原因になります。

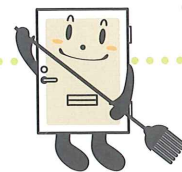


2 乾いた柔らかい布を用いて軽い力で水分を拭き取ってください。

※強く乾拭きしますと、扉表面をいためる原因になりますのでご注意ください。
たわし・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用しないでください。製品に傷が付ぎ「さび」や変色などの原因になります。



3 床や下枠部分の砂やホコリはこまめに清掃してください。



4 水分が常についた状態にありますと「さび」発生の原因になりますので、梅雨時期や冬場の結露時には風通しや換気に注意し、乾燥を心がけてください。



問い合わせ先・販売店